

1. 本県周辺海域の概況(図1, 9/12現在)

- ・黒潮の流型は、大きく蛇行したC型で推移しています。黒潮本流は房総沿岸に接岸後、犬吠埼沖合を東方に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 30′ 東経146° 付近(岩手県沖合)にあります。親潮の面積は平年より小さめで推移しています。三陸～鹿島灘沖合では逆潮(南下流)が強く、その下層には冷水域が広がっています。

2. 海洋観測結果(9/3～11:調査船「ときわ」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。表面水温は、会瀬沖で23.3～24.5℃, 大洗沖で23.4～25.1℃, 鹿島沖で24.6～26.2℃, 犬吠埼沖で24.7～27.3℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、暖水波及が弱まった影響により、表層・下層とも広い範囲で降温しました。また、会瀬・大洗定線の沖合下層では、北方より冷水が南下したため大きく降温(-8～-4℃)しました。(図6～7, 図14～15)。
- ・平年と比べると、表層では全域で「平年並」、下層(100m深)では会瀬定線の東経141° 30′ 以西, 大洗定線の東経141° 以西で高め基調(+1～+5℃), 両定線の沖合域で低め基調(-4～-1℃)となりました。(図8～9, 図16～17)。
- ・潮流の特徴として、沿岸域(東経141° 以西)で最大1.5ノット, 沖合域で最大2.2ノットの逆潮が観測されました。全域で逆潮が強い傾向にあります。

3. 今後の1か月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行型のC型基調で推移し、黒潮本流は犬吠埼沖合を東方に流去する状況がしばらく続くでしょう。
- ・親潮の面積は小さめで推移し、親潮第一分枝の先端は北緯39° 30′ 東経146° 付近(岩手県沖合)に停滞するとみられます。また、三陸～鹿島灘では逆潮の強い状況がしばらく続くと考えられ、本県沖では沖合下層を中心に冷水の影響がしばらく残るでしょう。
- ・水温を平年と比べると、沿岸では「平年並～高め」、沖合では「低め」で推移するでしょう。但し、沖合下層の冷水が沿岸域に流入した場合には、沿岸域でも急激に「低め」となる可能性があります。

